

多文化共生社会における日本語教育研究会  
第17回(2020年度)研究会



# 日本の義務教育は 誰のため？

—夜間中学の現状から考える—

講師

現代教育行政研究会代表、元 文部科学事務次官

**前川 喜平 (まえかわ きへい) 氏**


「教育機会確保法（義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律）」の成立に深く関わられた前川氏に、マイノリティの教育保障の最前線にある夜間中学の取り組みや教育行政のあり方についてお話を伺います。

前川喜平氏プロフィール

1955年奈良県生まれ。1979年東京大学法学部卒業、文部省に入省。大臣官房長、初等中等教育局長などを経て、2016年文部科学事務次官。2017年退官。現在、現代教育行政研究会代表、日本大学文理学部非常勤講師。福島市と厚木市で自主夜間中学のスタッフも務める。著書に『面従腹背』毎日新聞出版、『前川喜平教育のなかのマイノリティを語る』（対談集）明石書店、『前川喜平が語る、考える』（対談集）本の泉社などがある。

ファシリテーター：**野山 広 (のやま ひろし) 氏**

(一社)多文化社会専門職機構代表理事、基礎教育保障学会副会長

3月21日  13:30~15:30

参加費:1000円 オンライン(ZOOM)

主催: 多文化共生社会における日本語教育研究会

URL <https://tabunka-nihongo.jimdo.com/>

お問い合わせ: [tabunkanihongo2020@gmail.com](mailto:tabunkanihongo2020@gmail.com)

以下のURLまたはQRコードよりお申し込みください。

講演会の数日前に、参加用情報をメールにてご案内いたします。



 **お申し込み・お支払いは  
こちら【定員300名】**

<https://tabunkanihongo2020event.peatix.com>

